

大卒乗務員は基準人員・社員数に入らない？何のための乗務員養成だ！

《「平成20年度要員計画」業務委員会開催》

本部は4月4日、「平成20年度要員計画」について会社からの提示を受け業務委員会を開催しました。

本部は提案に対し「新幹線職場で一人6泊に年間の休日出勤数が増えたこと」「専任社員」「駅への異動」「交番検査の分散付与」などについて主張し議論を行いました。

《主な要員計画の内容》

基準人員・・・・・・・・・・15,500人（+400）社員数：20,700人（+300）
（運輸には、運転士見習い、車掌見習いを含む）

出向予定数・・・・・・・・・・約110人（△60）

採用実績・・・・・・・・・・H19年度実績：870人、H20年度初実績：901人

平成19年度退職実績 定年退職・・・954人、その他退職：231人

平成20年度初専任社員数・・・・・・・・1,321人（うち出向983人）

乗務員養成・・・・・・・・・・運転士 在来線：約120人、新幹線：約50人
車 掌 在来線：約180人、新幹線：約160人
（養成時期：H20年7月上旬以降順次）

乗務員から駅への異動・・・・・・・・約70人（在来線：45人、新幹線：25人）
（異動時期：H20年12月上旬）

※詳細は会社資料を参照してください

《主な議論内容》

組合：システム化・省力化等の計画なしということだが、落ち着いたということなのか？

会社：今年度初として示すものがない。あれば知らせる。

組合：昨年度の三河安城駅のように、外注化したものを直営に戻すということはない

のか。

会社：今の時点では何もない。

組合：外注されているものを、直営に戻すことも検討されたい。業務が増えている状況もある。

会社：いろいろな角度から検討したい。指摘は聞いておく。

組合：出向予定数が前年度に比べて、70名少ないがどうしてか。

会社：要員需給の関係である。

組合：運輸などでは契約社員が乗務しているが、基準人員・社員数に入っているのか。契約社員は何人ぐらいいるのか。

会社：基準人員・社員数には入っていない。専任社員を終えた人を対象に契約社員数は数十名である。

組合：それじゃあ契約社員は社員数には入っていないが、現場では要員として入れているということか。

会社：そうである。

組合：乗務員から駅への異動は駅還流のことだと思うが、新幹線、在来線の振り分けは何名か。

会社：在来線を増やし、在来線が45名で新幹線が25名である。

組合：駅や運輸は昨年より基準人員を増やした根拠は何か。

会社：駅については出札対応やダイヤ改正等で基準人員を増やした。

組合：運輸で社員数が基準人員を上回っているにもかかわらず、休日出勤が6泊に増えるということは納得いかない。

組合：新幹線の車掌養成数が前年度より40名増えているがどうしてか。

会社：休日勤務対応も含めて増やした。

組合：休日出勤勤務対応で以前、在来線からの車掌転勤を3年という予定で実施されたが、そのようなことは考えていないのか。また、今年で3年目が終了後に在来線からの転勤は考えていないのか。

会社：在来線からの転勤は考えていない。3年目終了後も考えていない。

組合：出向者の中で乗務員経験者や免許を持っている人や、退職した人の募集などをやったことがあるが、休日出勤解消策としてそれらを考えていないのか。

会社：考えていない。一旦退職した人を再就職させるとはならない。休日勤務解消として、特別契約社員を考えており21年度の採用計画数も増やす。

組合：20年度新規採用者の振り分けはわからないのか。

会社：運輸400名、車両90名、施設90名、電気120名である。

組合：大卒の乗務員を毎年養成しているが、基準人員・社員数に含んでいるのか。

会社：現在、職場に配属されている人は社員数に入っているが、基準人員・社員数には入れない。

組合：それじゃあ何のために養成しているのか。免許を取らずのが目的か。免許を取らせて全然関係ない、車両とか電気とか非現業職場に配属されている。それよりは、高卒の社員を乗務員として養成して運輸職場に配属した方が良い。

会社：大卒社員が各職場を回ることはいいい経験になると思う。

組合：新幹線運転士養成での50名は最大限なのか。

会社：要員需給上からもこれが最大限である。

組合：交番検査の特休の分散付与が7日から20日に増えた。一班増やすとか、解消に向けた対策を考えるべきだ。

会社：早期に解消に変わらないが、一班を増やすことは考えていない。

組合：交番検査の休日は一斉付与が基本であるから、一班増やすべきである。

会社：そのような考えはない。

組合：各事業所ごとの要員数の指標を示すべきだ。どれだけ、要員が不足しているかわからない。

会社：示す必要はない。

以 上